

講習 習い——憶える。

高尚 掌を下に五指の指頭を左にさした右手を鼻の下につけ（ちようど人差指の側面がつく）まっすぐに、それを右へ引く。

皇族 天皇——親族

校正 左掌の上に（印刷のゲラ）右手の人差指で、二三度位置を変えて短い線を引く。

（誤植を消す）

洪水 左手の五指の指頭前方にさし、右向けた左掌（堤防）に、五指の指頭前方にさし掌を上向けた右手（水面）をつけ、その水面を上へふくれ上るようにし、左手（堤防）を越さして外へ出す。

工場 「工業」と同じ手まね。

講堂 「講演」「演説」と同じ手まね。

強盗 両手で覆面をする身振りをして、右手の人差指（兇器）を突き出す。

コーヒー 五指の指頭を前方にさし掌を右

側に向けた左手をまるく彎曲してコーヒの茶碗を形どり、右手人差指をスプーンとして、茶碗の中をかき廻わして、飲む身振り。

工夫（鋸夫） 鶴嘴を振り上げて、打ち降す身振り——男性

幸福 五指の指頭を上をさし掌を内側に向けた手の親指と人差指の間を開いて顎を下から挟み撫で降す。二度ばかり繰返す。

公平 指頭を前方にさした人差指（上に）と親指（下）の間をかなり開いて両手をびったり合わせてから、左右に両手を離して行く。人差指と親指が二本の平行線を描くわけである。「平均」「普通」の手まねともなる

交替 「変わる」「変える」と同じ手まね。

皇太子 男性（中指）右手を左の掌にのせ、眼の上辺りにさし上げる。

皇太后 天皇——母

校長 学校——主

交通 「公園」と同じ手まね。

功名 腕前 —— 名を挙げる（「揭示」と同じ手まね）

高等 (イ) 高等学校。白線の帽子—学校。

白線の帽子は、白（人差指の指頭で歯をさす）を表わして、人差指と中指の二指で額の上を横に線を描く。(ロ) 高等（下等に対する）「高尚」と同じ手まね。(ハ) 高等（智的な）考え—高い（掌を下に向けた手を肩の辺りから高く上にあげる。）

鉱物 石—いろいろ（物）

高慢 五指の指頭を集めたのを、鼻頭につけてから、前へ引き出すようにする。即ち天狗。

効用 「適する」と同じ手まね。

誤解 思い—間違い。

互角 掌を内側に人差指と親指の指頭を下方にさした左右の手を下に重らし、両腕を×

形に交叉させて、同時に両手の人差指と親指の指頭を合わせる（「同じ」の手まねの要領）

小刀 (イ) 折り曲げて鞘におさまった小刀を鞘から伸ばして出す両手の身振り。(ロ) 左の人差指（鉛筆など）を右の人差指（小刀）でけずる身振り。

故郷 生れる—処（或は国）

国際 国—国—關係。（胸の前後寄り）に「国」の手まね、更に左よりに「国」を表わす）

告白 (イ) 正直—云う。(ロ) 五指の指頭を上にかし掌を上に向けた右手を口許から前にさし出す。口から吐き出すこと。

午後 「正午」の場合の二指を右へ傾ける。或は二指を前方に落す。

極楽 仏—国

心 人左指で腹部をさす。